

自浄作用活性化委員会答申

自浄作用活性化実践の評価と充実

平成 20 年 2 月

福岡県医師会 自浄作用活性化委員会

福岡県医師会
会長 横倉義武 殿

福岡県医師会自浄作用活性化委員会
委員長 村上吉博

平成18年7月4日貴職より諮問のありました「自浄作用活性化実践の評価と充実」について、鋭意検討を重ね、この度別添の通り報告をまとめましたので答申致します。

平成20年2月

福岡県自浄作用活性化委員会	委員長	村上吉博
	副委員長	坂本雅子
	委員	池永満隆
	委員	小金丸史隆
	委員	高須矯
	委員	堤啓博
	委員	堤康博
	委員	西園久徳子
	委員	野口郁子
	委員	林田スマ
	委員	福地正明
	委員	戸次鎮史
	委員	松田哲之輔
	委員	山内孝夫
	委員	山岡春夫

(五十音順)

目 次

はじめに

対内的方策

- 1) ハートフル研修会
- 2) 安全管理研修会

対外的方策

- 1) 県民公開講座

はじめに

近年の医学・医療の発展は目覚しく、国民の期待や関心が高まる一方、昨今の医療事故や不祥事の続発、これらは一部の医師・医療機関によるものとはいえ、医師全体への不信・不満を募らせている。日本医師会は、この現状を真摯に捉え、平成12年『医の倫理綱領』を策定、平成16年『医師の職業倫理指針』を示した。そもそも倫理は個人的な問題ではあるが、日本医師会は「自らを律する意識改革」が不可欠と考え、倫理の実践のために『自浄作用活性化委員会』を常設、全国の医師会にも早急に設置するよう提案した。

福岡県医師会は、平成16年に『自浄作用活性化委員会』を設置したが、日本医師会の取り組みが、不正行為や倫理に反する医療事故を起こした会員への対策が主であるのに対し、福岡県医師会は、すべての会員の共通認識として自浄作用を活性化させ、そのことにより県民の信頼に応え得る医療を提供するとともに、不正行為や医療事故を未然に防ぐことを、組織として取り組むことに主眼を置いた。そして自浄作用の具体的実践方策について検討を重ねた。まず、医師会内部への対内的方策として、「ハートフル研修会」及び「安全管理研修会」を開催、次に対外的方策として“信頼の医療を目指して”をテーマに「県民公開講座」を開催した。この答申は、2年間の取り組みを総括し評価するものであり、この答申を基に、今後の自浄作用活性化実践がより充実したものになることを願って止まない。

対内的方策

1) ハートフル研修会

受講する人数が少なかったことは、「医療現場におけるトラブルや苦情・訴訟事例を通して、会員が医の倫理に立ち戻り、より患者や家族の立場にたった医療を提供するようになるための啓発」を目的とした、この研修会の趣旨を十分に伝えることが出来なかったからではないか。県医師会からの伝達だけではなく、郡市医師会からの積極的な広報などブロック毎の工夫も必要である。医師以外の医療従事者へ参加を促したことは良かったが、B会員の受講を増やす対策も講じなければならない。研修会に出席し質疑応答することも大事だが、講演を聴き自ら考えることも重要である。出席出来なかった会員のために、DVDを作成し、総会や研修会の前に流すのも一方策である。講演内容については、受講者からほぼ満足を得たとの評価を受けたものの、事例を中心とした講義形式の単調さを指摘する声もあった。今後は、講師陣と医師会担当で研修会内容の事前協議や、研修会前に資料を配布し受講者参加の討論形式など、検討の余地がある。

2) 安全管理研修会

医療機関で起こった事故について、発生時の対応やどのような調査をして原因を分析し再発防止策を講じたか、他の医療機関の前で公表し、活発な意見交換が行われたことは、非常に有意義であった。かつ、この内容を県医報を通じて会員に伝えたことは、各々の医療機関のレベルアップに繋がり、同じような医療事故を未然に防ぐ効果が期待できる。また、医療機関や医療従事者が工夫して、医療事故防止対策を講じている姿勢を、県民に広報することも重要である。現在は、委員会が「日本医療機能評価機構認定病院」から選定しているが、いろいろな医療機関が参加するようになることが、真の安全管理に繋がるのではないだろうか。今後は参加医療機関を増やし、開催回数も増やす方向で検討したい。

対外的方策

1) 県民公開講座

県医師会が取り組んでいる自浄作用活性化や医療安全対策を、県民に広く公開することは重要であるから、広報活動の一環として継続すべきである。多数の方に来場して頂くには、開催日時・場所および広報手段の検討と同時に、企画についても県民が討論の場に参加し、医療のあり方を考え問題意識を共有するような内容の検討が必要である。将来は、地域ブロックや郡市医師会主催での公開講座が開かれることを期待する。

【 資料 】

- * 資料 1 . . . ハートフル研修会アンケート結果
- * 資料 2 . . . 県民公開講座

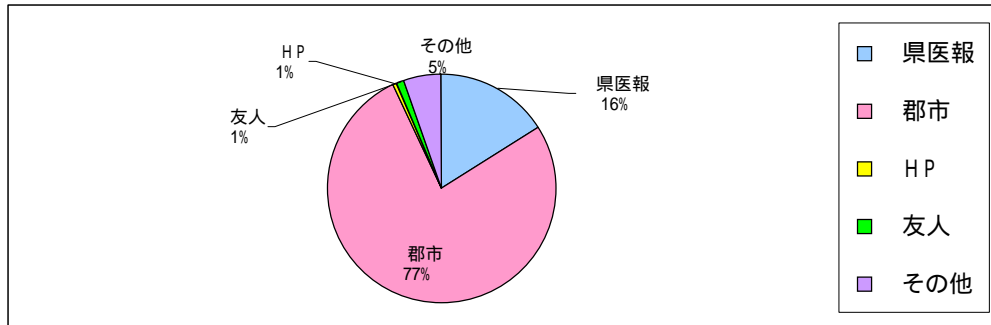
平成18年度・平成19年度 ハートフル研修会一覧

平成18年度		開催時間 17:00～18:30	テーマ: 事例に学ぶ
【北九州ブロック】			
第1回	5月27日	〔北九州市総合保健福祉センター〕	<u>副題</u> 医師の説明義務違反をめぐる判例
第2回	7月22日	〔小倉医師会館〕	医療過誤訴訟
第3回	9月9日	〔小倉医師会館〕	医療安全相談コーナーにおける相談
第4回	11月11日	〔北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」〕	医療事故と患者の権利
第5回	1月27日	〔北九州市総合保健福祉センター〕	患者隔離と医療差別
【福岡ブロック】			
第1回	5月13日	〔福岡県医師会館〕	<u>副題</u> 医療事故と患者の権利
第2回	7月29日	〔福岡県医師会館〕	患者隔離と医療差別
第3回	9月2日	〔福岡県医師会館〕	保健所の医療安全相談窓口の事例
第4回	11月11日	〔福岡県医師会館〕	医師の説明義務違反をめぐる判例
第5回	1月20日	〔福岡県医師会館〕	医療過誤訴訟
【筑豊ブロック】			
第1回	4月15日	〔飯塚医師会館〕	<u>副題</u> 医療過誤訴訟
第2回	6月17日	〔飯塚医師会館〕	医療事故と患者の権利
第3回	8月26日	〔飯塚医師会館〕	行政における医療相談事例について
第4回	10月14日	〔飯塚医師会館〕	患者隔離と医療差別
第5回	12月2日	〔飯塚医師会館〕	医師の説明義務違反をめぐる判例
【筑後ブロック】			
第1回	4月22日	〔久留米医師会館〕	<u>副題</u> 患者隔離と医療差別
第2回	6月24日	〔大牟田医師会館〕	医師の説明義務違反をめぐる判例
第3回	8月19日	〔久留米医師会館〕	行政における医療相談事例について
第4回	10月14日	〔大牟田医師会館〕	医療過誤訴訟
第5回	12月16日	〔久留米医師会館〕	医療事故と患者の権利
平成19年度		開催時間 17:00～18:30	テーマ: 事例に学ぶ
【北九州ブロック】			
第1回	8月18日	〔小倉医師会館〕	<u>副題</u> 説明義務に関する司法判断の到達点
第2回	9月15日	〔小倉医師会館〕	患者側弁護士による医療事故訴訟概論
第3回	11月10日	〔小倉医師会館〕	説明義務の限界
第4回	1月12日	〔小倉医師会館〕	行政における医療相談事例と関係法規
【福岡ブロック】			
第1回	8月11日	〔福岡県医師会館〕	<u>副題</u> -
第2回	9月29日	〔福岡県医師会館〕	説明義務に関する司法判断の到達点
第3回	12月1日	〔福岡県医師会館〕	転倒事故の原因と再発防止策について
第4回	1月26日	〔福岡県医師会館〕	患者さんからの苦情・相談にどう向き合うか
【筑豊ブロック】			
第1回	8月25日	〔飯塚医師会館〕	<u>副題</u> 最近の最高裁判決の事例から
第2回	10月13日	〔飯塚医師会館〕	患者側弁護士による医療事故訴訟概論
第3回	12月22日	〔飯塚医師会館〕	転倒事故の原因と再発防止策について
第4回	2月2月	〔飯塚医師会館〕	行政における医療相談事例と関係法規
【筑後ブロック】			
第1回	8月18日	〔久留米医師会館〕	<u>副題</u> 患者側弁護士による医療事故訴訟概論
第2回	10月27日	〔大牟田医師会館〕	転倒事故の原因と再発防止策について
第3回	12月8日	〔久留米医師会館〕	行政における医療相談事例と関係法規
第4回	2月9日	〔大牟田医師会館〕	私の扱った医療過誤事件

平成19年度ハートフル研修会 アンケート結果(4ブロック)

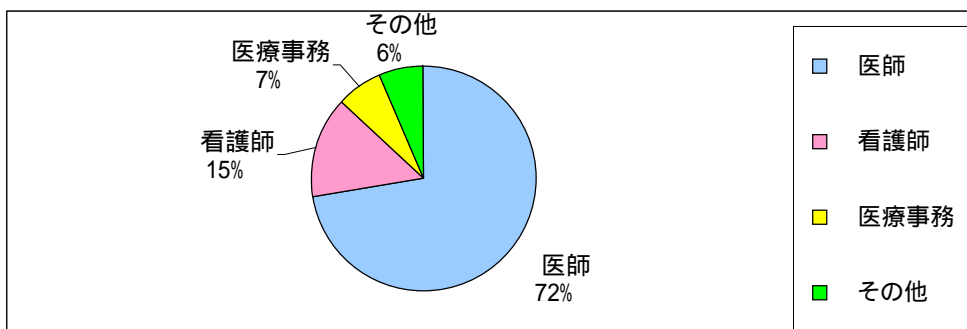
1. 今回の「ハートフル研修会」を何でお知りになりましたか？ (複数回答有)

福岡	北九州	筑豊	筑後	項目	人数
17	17	4	10	県医報	48
47	49	65	68	都市	229
0	1	0	1	HP	2
0	3	0	0	友人	3
5	4	3	4	その他	16



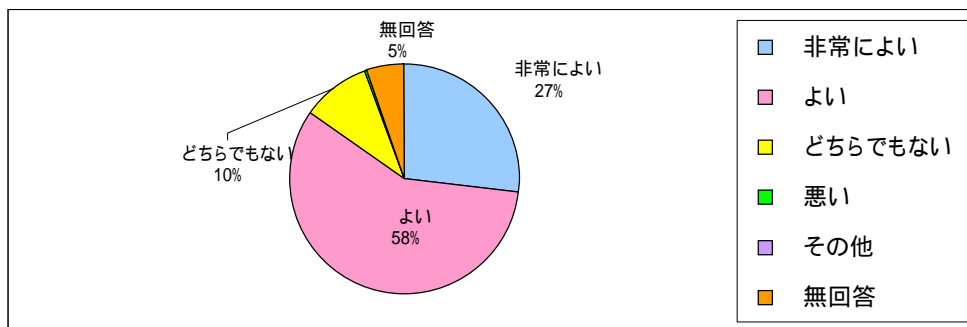
2. ご職種をお尋ねいたします。

福岡	北九州	筑豊	筑後	項目	人数
49	53	47	56	医師	205
9	7	14	12	看護師	42
8	2	3	6	医療事務	19
6	1	6	5	その他	18



3. 今回の講演について

福岡	北九州	筑豊	筑後	項目	人数
19	22	20	15	非常によい	76
41	33	43	47	よい	164
9	4	6	8	どちらでもない	27
0	0	0	1	悪い	1
0	1	0	1	その他	0
3	4	1	7	無回答	15



福岡県医師会主催

～県民とともに～

県民のための公開講座

医療とともに上手に長生き

日時 平成19年3月24日(土) 13:00~15:00

場所 イムズホール(イムズ9階)

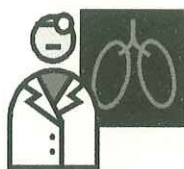
<総合司会>福岡県医師会理事 相良 鞆彦

1. 挨拶

福岡県医師会会長 横倉 義武

2. トークセッション

「患者の本音、医者の本音」



福岡県医師会自浄作用活性化委員

大野城まどかぴあ男女平等推進センター所長

音楽プロデューサー

福岡県医師会理事



林田 スマ

深町 健二郎

堤 康博

3. シンポジウム

「医療とともに上手に長生き」

<シンポジスト>

県民代表

第4期メディパチャモニター(福岡)

坂江 勉

第4期メディパチャモニター(筑豊)

中村 真弓

音楽プロデューサー

深町 健二郎

マスコミ代表

西日本新聞社

田川 大介

医師会代表

福岡市医師会理事

津田 泰夫

福岡県医師会理事

堤 康博

<司会>

林田 スマ

4. 意見交換

5. 閉会

～県民とともに～



県民のための公開講座



どこで最期を迎えますか？

日時 平成19年12月15日(土) 13:00~15:00

場所 NTT 夢天神ホール(岩田屋本館7階)

<総合司会>福岡県医師会理事 堤 康 博

1. 挨拶

西日本新聞社編集局長 菊 池 恵 美
福岡県医師会会長 横 倉 義 武

2. 特別講演

「 健やかに生き、安らかに死ぬために 」

講師：日本尊厳死協会副理事長 大 田 満 夫

3. シンポジウム

「 どこで最期を迎えますか？ 」

<シンポジスト>

特別講演講師	日本尊厳死協会副理事長	大 田 満 夫
県民代表	第5期メディパチャモニター	萩 尾 良 雄
	第5期メディパチャモニター	松 尾 千 恵 子
マスコミ代表	西日本新聞社編集委員	田 川 大 介
医師会代表	福岡県医師会副会長	池 田 俊 彦
	福岡県医師会理事	相 良 鞆 彦

<司 会> 西日本新聞社編集局長 菊 池 恵 美

4. 閉 会

